

第2次知多市観光振興計画[概要版]

策定の目的

本市では、平成28年度を観光元年と位置付け、より多くの来訪者を誘客し、観光産業を産業振興とまちづくりにつなげるため、「知多市観光振興計画」を策定しました。平成29年度から令和2年度までの4年間の計画で「ひとを惹きつける観光資源の磨き上げ」、「魅力を伝える情報発信力の強化」、「また訪れたくなるおもてなし環境の整備」の3つの基本方針を定め、観光振興の推進を図ってきました。

これまでの取組の中で新たに増えてきた課題や環境の変化を踏まえた上で、市民を中心に観光に関わるすべての関係者が連携・協働し、交流人口・関係人口の拡大や地域経済の活性化を図ることを目的に「第2次知多市観光振興計画」を策定します。

計画期間

令和3年度から令和5年度まで（3年間）

観光振興の必要性

人口減少による影響は、生活利便性の低下や地域の魅力の低下へとつながり、さらなる人口減少を引き起こします。観光振興により、定住人口の維持や交流人口・関係人口の拡大を図り、この悪循環を防ぐ必要があります。また、魅力的な観光資源の発掘と磨き上げ、来訪者をもてなして交流を深めるといった観光振興は、市民の自らの地域に対する愛着と誇りを育て、地域の魅力の向上といった大きな役割を担っています。

現状と前計画を推進する中で 見えてきた新たな課題

(1) 本市の観光資源

佐布里、岡田、新舞子の3つの観光エリアを柱とし、地域の伝統文化やお祭りなどのイベントを観光資源を活用しながら観光振興を推進しています。一方、市内10か所の弘法大師霊場を巡る十弘法事業や大野谷散策マップと合わせた大野谷四ヶ寺の参拝記念集印事業を通して多くの人が参拝に訪れていることから、大きなイベントだけでなく、来訪者ニーズに合わせた個々の観光資源の磨き上げによって、一年中楽しめる観光コンテンツを開発する必要があります。

(2) 観光の産業化による地域経済の活性化

観光が地域経済に十分反映されていないことから、特色ある地域ブランド商品の開発や梅まつりなどの大きなイベントを他の観光資源や飲食店のイベントと結び付け、地域一体となった取組をさらに実施する必要があります。

(3) 旅行者の受入体制

地域経済の活性化には訪日外国人対応が重要な観光施策となっており、多言語表示、Wi-Fi環境の整備などが求められています。また、日本人旅行者、訪日外国人旅行者ともに地域の人々との交流や地域ならではの体験を重視する傾向が強くなっていることから、来訪者へのおもてなしを向上させ、本市の特色を生かした「着地型観光」を地域一体となって推進していくことが必要です。

(4) 効果的な情報発信

旅行前・旅行中での情報収集の方法の違いや、旅行中・旅行後にいかにSNSを通じて旅行者自身に情報発信してもらうかを意識しながら、効果的な情報発信をしていくことが必要です。

(5) 新しい生活様式・新しい旅行スタイルへの対応

コロナ禍においては、飲食店や観光施設等の地域事業者一人ひとりが業種別のガイドラインを遵守し、地域一体となって感染症対策を徹底し、地域経済の回復と新しい観光につながる取組を推進する必要があります。

基本理念

「あたらしく、知多らしく。新たなご縁につながるおもてなし」

市の暮らし、自然、歴史、文化等の「知多市らしさ」を来訪者に感じていただきたい。地域の人々と来訪者がふれあう場を提供したい。そんな想いを伝えることで、この地域のことを「特別な」、「大切にしたい」、「今後、期待に応えてくれる」といった存在として来訪者に認めていただく。基本理念には、来訪者が地域と長く結びつく観光地域づくりを行う想いが込められています。

目指す将来の姿

自然や歴史、伝統文化などの
魅力が守られるまち

地域内消費を拡大できるまち

市民が地域に誇りをもち、
市民が輝くまち

数値目標

(1) 観光入込客数

100万人

(基準年：2019年：947,655人)

(2) 滞在交流型観光コンテンツ数

20コンテンツ

(基準年：2020年度：7コンテンツ)

(3) 観光協会ホームページアクセス数

10万アクセス

(基準年：2019年度：79,024アクセス)



知多市観光協会支部懇談会の開催

八幡地区・岡田地区・旭地区における観光資源の洗い出しと磨き上げ、また各地区の担い手となる観光人材の育成を目的に、知多市観光協会支部懇談会が開催されました。

懇談会では、「魅力ある地域資源の発掘・磨き上げ」をテーマとするワークショップが開催され、本市の観光資源の発掘・発見、そして、マーケットを想定した「知多の休日」の過ごし方などについて意見交換を行いました。

ワークショップでの主な意見を参考とし、本計画のなかで本市の観光の魅力創造につなげていくとともに、次年度以降の具体的な各種事業につなげていくこととします。



▲ワークショップの様子

基本方針	戦略	主な施策	
1 知多市らしさの魅力の創造	1-1 今ある観光資源・イベントの磨き上げ	(1) 佐布里池周辺の四季を通じた活用と佐布里池梅林の拡充 (2) 岡田の古い街並みを活用した着地型観光の推進 (3) 新舞子の海とマリンスポーツ、レジャースポットの活用 (4) 大草城址の活用 (5) 公共施設や企業等との連携	
		1-2 新たな観光資源の掘り起こし	(1) 神社仏閣を活用した資源開発 (2) 農業体験や農産物の収穫体験を活用した資源開発
			1-3 観光人材の育成とボランティアガイドの活動支援
		1-4 来訪者に心地よい環境の整備	
			2 データの活用による戦略的マーケティング
	2-2 エビデンスに基づく施策立案・実施		
	3 新しい生活様式に沿った観光まちづくり	3-1 新しい生活様式・新しい旅行スタイルへの対応	(1) 来訪者への啓発 (2) 地域一体となった感染防止対策の実施
			3-2 アフターコロナを見据えた取組
		4 観光プロモーションの強化	4-1 ICTを活用した観光情報の発信
	4-2 マスメディア、旅行会社の活用による情報発信		
	4-3 知多市ふるさと観光大使による情報発信		
	4-4 フィルムコミッションの活用		
	4-5 広域連携の推進		(1) 知多半島観光圏協議会による広域観光の推進 (2) 広域観光を活用した事業展開やPR

各主体の役割

基本方針や戦略に基づき、目指す将来の姿を実現するためには市、観光協会、商工会、事業者、市民・市民団体がそれぞれの役割を理解し、積極的に連携、協働して取り組むことが求められます。

○市の役割

- ・観光関係団体や事業者、市民・市民団体及び関連自治体と連携しながら、総合的な施策を展開し、観光地域づくりを推進する。
- ・イベント時の渋滞対策などの受入環境を整え、来訪者の交通の利便性向上に努める。
- ・各主体が取り組む観光振興事業への協力、支援を行う。
- ・観光に関するデータ集約や分析、効果検証を行い、戦略的なマーケティングに努める。

○観光関係団体（観光協会、商工会など）の役割

- ・観光情報の収集や誘客に向けたプロモーション活動、滞在交流型観光の推進に努める。
- ・来訪者に関するデータを収集する。
- ・ICTを活用した積極的な情報発信に努める。
- ・次世代に続く観光人材・観光ガイドの育成に努める。
- ・観光資源の開発や磨き上げを行い、魅力ある観光コンテンツの造成に努める。

○事業者の役割

- ・「新しい生活様式」に対応しながら来訪者のニーズに合った質の高いサービスを提供し、おもてなしに努める。
- ・本市の特産品や名物料理などの開発と積極的な販売に努める。
- ・観光資源の開発や磨き上げを行い、魅力ある観光コンテンツの造成に努める。
- ・来訪者に関するデータの収集に協力するとともに、顧客分析、マーケティングに積極的にチャレンジする。
- ・来訪者の交通の利便性向上に努める。

○市民・市民団体の役割

- ・本市の自然や歴史、文化に誇りと愛着を持ち、観光資源としての魅力の向上と活性化及び伝統行事の伝承に努める。
- ・歴史的建造物や歴史的な街並みなどの保存に努める。
- ・来訪者の案内やおもてなしをするボランティアに積極的に参画する。
- ・口コミによる情報発信が期待されるフェイスブックやツイッターなどSNSを有効活用することにより、本市の魅力発信に努める。

計画を推進するために

本計画の中には、すぐに取り組める事業から、ある程度の期間が必要な事業もありますが、実現できることから着実に実施していくことが重要です。

本計画を推進するためには、各主体がそれぞれの役割を果たすことはもちろん大切ですが、積極的に相互連携し、果敢に新しい取組に挑戦することが求められます。

特に、市、観光協会、商工会は、各主体間のコーディネーターとして、取組に対する支援や調整を行うとともに、三者でしっかりと連携し計画を推進します。

発行：知多市

住所：〒478-8601 知多市緑町1番地 電話：0562-33-3151（代表） FAX：0562-32-1010

編集：知多市環境経済部商工振興課 E-mail：shoukou@city.chita.lg.jp